
「庄内の美術家たち」展 シリーズ第二回 ～大正の動向から

この度、鶴岡アートフォーラムは「庄内の美術家たち展 シリーズ第二回 ～大正の動向から」を開催いたします。

本展は、明治から昭和にかけて鶴岡を舞台に開催された「教育絵画展覧会」を振り返り、庄内の美術界を拓いた美術家たちを紹介するものです。

昨年続くシリーズ第2回目となる今回は、大正期に焦点をあて、黎明期の庄内の美術文化を支えた教育絵画展の出品作家たち11名の作品約35点と、その画業を紹介します。また、併せて庄内における美術文化の歩みと当時の社会状況を紹介し、現代に受け継がれる郷土文化を顧みる試みです。

1. 会 場：鶴岡アートフォーラム
2. 会 期：2007(平成19)年1月27日(土)～3月11日(日)
38日間 月曜休館
ただし2月12日(月・振休)は開館、翌13日(火)休館
3. 開館時間：9：30-19：00
4. 観 覧 料：一般 200(160)円／高校・大学生 100(80)円
中学生以下は無料 ()内は20名以上の団体料金
※観覧料の免除
・学校の教育活動として観覧する場合(引率教員含む)
・心身障害者が観覧する場合は半額、介助者が観覧する場合は無料
5. 主 催：鶴岡アートフォーラム／鶴岡市教育委員会

共 催：財団法人 致道博物館

企 画：鶴岡アートフォーラム／財団法人 致道博物館

6. 出品作家

- (1). 佐藤 長草 さとう ちょうそう 1891 (明治 24) 年～1924 (大正 13) 年
- (2). 大沢 恒躬 おおさわ つねみ 1891 (明治 24) 年～1924 (昭和 9) 年
- (3). 星川 輝洋 ほしかわ きよう 1894 (明治 27) 年～1923 (大正 12) 年
- (4). 根上 富治 ねあがり とみじ 1895 (明治 28) 年～1981 (昭和 56) 年
- (5). 山口 将吉郎 やまぐち しょうきちろう 1896 (明治 29) 年～1972 (昭和 47) 年
- (6). 川村 智保 かわむら ちほ 1896 (明治 29) 年～1993 (平成 5) 年
- (7). 中村 雅彦 なかむら まさひこ 1897 (明治 30) 年～1964 (昭和 39) 年
- (8). 大八木 栄治 おおやぎ えいじ 1898 (明治 31) 年～1962 (昭和 37) 年
- (9). 荒井 篁一郎 あらい こうちいろう 1899 (明治 32) 年～1934 (昭和 9) 年
- (10). 真島 北光 ましま ほっこう 1900 (明治 33) 年～1960 (昭和 35) 年
- (11). 五十嵐 悌二 いがらし ていじ 1904 (明治 37) 年～1975 (昭和 50) 年

以上、11名 (生年順)

○展覧会の見所

*本展では、大正期の「教育絵画展覧会」及び、庄内の美術文化を支えた作家 11 名を一堂に紹介します。また、県内各地から出品された作品約 35 点を展示します。

*会期中は、鶴岡市内に残る古典雛一式(御殿飾り)を併せて展示します。

○注目作品

1. 根上 富治 「飼鷹」 しょう 制作年不明
絹本着色・軸装 1922 (大正 11) 年 第 4 回帝展 特選作品 山形大学附属博物館蔵
2. 大八木 栄治 「枯れたる向日葵」 かれたるひまわり 制作年不明
キャンバスに油彩・額装 1928 (昭和 3) 年 第 9 回帝展 入選作品 個人蔵
3. 真島 北光 「魚をはこぶ海女」 さかなをはこぶあま 制作年不明
紙本着色・軸装 1941 (昭和 16) 年 第 5 回大日美術院展 出品作品 個人蔵